

第14回 菜の花文化フォーラム

フォーラムテーマ

「秋霜に生きる-孤高の政治家・斉藤隆夫」

ごあいさつ

一昨年（2018年）フォーラムテーマ「荒井退造の生きざまから何を学ぶか」として、荒井退造顕彰関係の兵庫・沖縄・栃木の有義者による三県トライアングルパネル討論会を開催いたしました折、兵庫県ご出身の作家、横家伸一氏の斉藤隆夫評伝「秋霜に生きる」上梓に接しました。

今般、昭和史最大の汚点、あの不条理な太平洋戦争突入に敢然と立ちはだかった孤高な政治家のご紹介をお願い致しました。

下記の通り、皆様のご来場をお待ち申し上げております。

敬具

2019年2月吉日 主催：NPO法人菜の花街道 荒井退造顕彰実行委員会

みなさんは、真剣に政治と向き合えますか

斎藤隆夫という政治家をご存知でしょうか。

兵庫県選出の大正、昭和の戦前と戦後に活躍した「ネズミの殿様」と揶揄された衆議院議員です。彼が国会で行った有名な演説には、男子全員に投票権を与える普通選挙法改正、2.26事件直後の肅軍演説、治安維持法と国家総動員法の反対、そして昭和一五年の反軍演説の五本があります。日中戦争の最中、戦争に意義と価値を見出せなかった斎藤は国民生活の困窮と抑圧される様子を懸念して未来の見えない無益な戦争はやめるべきだという反戦の演説を命を懸けて国会でしました。今、考えればごく当たり前のことではありますが、当時は戦争をやめることは軍部や戦死した英霊の侮辱につながるという暴論で国会議員を除名されます。

次の衆議院選挙でトップ当選で返り咲きます。これは禊の選挙でも何物でもなく、当然のことでした。今の時代、選挙権は水や空気のように当然にあるものと思いがちですが過去はそうではなかったのです。その斎藤隆夫の生涯の政治活動を通じ、選挙制度の推移の中から選挙権がいかに国民の強い要望と苦勞の末に全員に獲得されていったかをみなさんと考えてみたいと思います。

横家伸一

講師・【作家】横家 伸一氏（よこやしんいち）

《プロフィール》

兵庫県生まれ、現在68歳

神戸大学卒業

兵庫県公立小・中学校に36年間勤務

主な著書・秋霜に生きる、群青の墓標、シルバーエイジ鉄道夢紀行



2019年4月発刊



2019年4月6日（土曜日）

会場：宇都宮市立南図書館（会議室） JR雀宮駅東口より徒歩2分

参加費：無料 定員50名（先着申し込み順）※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

13：00（受付開始・開場）

フォーラム開始 13：30～15：30

主催：NPO法人菜の花街道

後援：下野新聞社

申し込み先：NPO菜の花街道事務局 TEL:070-1044-6144（携帯）TEL番号でお申込み下さい。

齊藤隆夫という人物は



1870年兵庫県豊岡市出石町中村に斎藤八郎右衛門の次男として生まれる。8歳になり福住小学校に入学したが、12歳の頃「なんとしても勉強したい」という一念から京都に遊学するが、希望する学問でなかったために一年で帰郷する。明治24年東京専門学校(現・早稲田大学)行政科に入学、明治27年に同校同学科を首席で卒業。明治28年弁護士試験(現・司法試験)に合格その後、アメリカのイエール大学法科大学院に留学して公法や政治学などを学ぶ。

西暦	和暦	齊藤隆夫とその時代の出来事
1870年	明治3年	兵庫県豊岡市出石町中村に生まれる
1889年	明治22年	大日本帝国憲法公布
1890年	明治23年	第1回衆議院総選挙実施
1894年	明治27年	東京専門学校卒業、翌年に弁護士資格取得
1901年	明治34年	米国イエール大学留学
1903年	明治37年	肋膜炎にかかり、同大学留学を断念して帰国
1904年	明治38年	弁護士開業
1912年	明治45年	第11回衆議院総選挙 郷里の但馬より立候補し初当選
1914年	大正3年	第一次世界大戦始まる
1915年	大正4年	第12回衆議院総選挙当選
1919年	大正8年	原敬首相に「選挙権を国民に広く開放すべき」と説くが、拒否されて衆議院を解散される
"	"	第14回衆議院総選挙、小選挙区制で相手候補による金権選挙によって僅差で落選
1921年	大正10年	原敬首相、東京駅丸の内南口で暗殺される
1923年	大正12年	関東大震災
1925年	大正14年	第15回衆議院総選挙、憲政会公認当選し国会に返り咲く
"	"	普通選挙法制定、納税限度撤廃、選挙権は男子25歳以上と制定
1927年	昭和2年	浜口雄幸 総裁 民政党発足
1928年	昭和3年	第16回衆議院総選挙、民政・政友二大政党総選挙となりトップ当選
1929年	昭和4年	内務政務次官拝命 浜口内閣
1930年	昭和5年	浜口雄幸 首相(第27代内閣総理大臣)襲撃される
1931年	昭和6年	第17回衆議院総選挙、民政党兵庫支部長としてトップ当選、内閣法制局長拝命
1932年	昭和7年	5.15事件、内務政務次官拝命 斎藤 實内閣
1933年	昭和8年	国際連盟脱退
1936年	昭和11年	2・26事件
"	"	肅軍演説を行う
1937年	昭和12年	第20回衆議院総選挙、日中戦争(日華事変)
1938年	昭和13年	国家総動員法制定に対して、国会にて真っ向から批判演説
1939年	昭和14年	近衛、平沼、阿部と短命内閣つづく
1940年	昭和15年	2月2日米内内閣に対する反軍演説が致命的となり議員除名となる
"	"	三国同盟成る、大政翼賛会発足
1941年	昭和16年	内閣は近衛文磨から東条英機へ・太平洋戦争開戦
1942年	昭和17年	第21回衆議院総選挙、除名の屈辱を晴らしてトップ当選
1945年	昭和20年	疎開先の出石(兵庫)で終戦
1946年	昭和21年	第22回衆議院総選挙 吉田茂内閣で国務大臣任命
1947年	昭和22年	片山哲内閣で国務大臣任命
1949年	昭和24年	第23回衆議院総選挙当選
"	"	同年10月7日逝去 享年79歳

出典：横家伸一氏著より